

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年9月13日（水）

2 確認箇所

多核種除去設備等処理水希釈放出設備

- (1) 処理水移送ポンプ
- (2) 移送配管ベント弁

3 確認項目

多核種除去設備等処理水希釈放出設備

- (1) 処理水移送ポンプ水張りの状況
- (2) 移送配管ベント弁復旧の状況

4 確認結果の概要

(1) 移送ポンプ水張りの状況について

多核種除去設備等処理水（以下、「ALPS処理水」という。）の初回放出が9月11日に終了したため、東京電力はALPS処理水希釈放出設備の点検等を行っている。（図1）

多核種移送設備建屋において、12日にかけて処理水移送ポンプの入口にあるY型ストレーナ[※]の洗浄、交換が行われ、本日は水張り作業が予定されていることから、現場の状況を確認した。（図1）

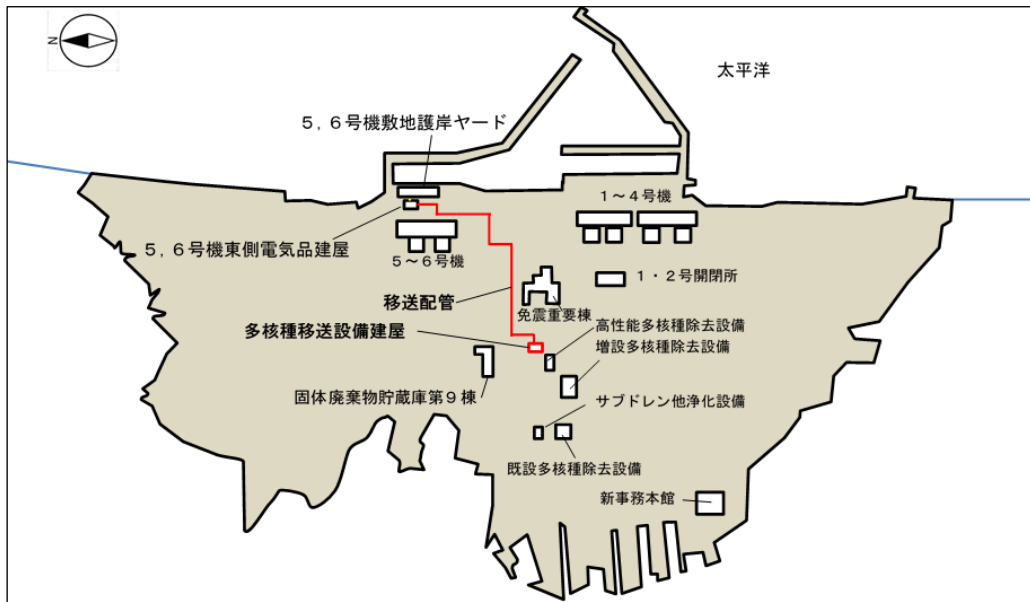
- ・ Y型ストレーナ周辺では、委託作業員がポンプの軸を手で回して配管に水を張り、ベント弁から水が出ることを確認していた。（写真1）
- ・ Y型ストレーナ周囲の配管フランジ部から水漏れがないか確認を行っていた。（写真2）
- ・ 上記の確認後、配管に結露水吸収用の吸水バッグを取り付け、仮復旧していた。（写真3）

※Y型ストレーナ：ごみ、異物を除去するための配管部品。本構成ではポンプに異物が入るのを防ぐために設置されている。

(2) 移送配管ベント弁について

9月6日、ALPS処理水希釈放出設備の移送配管において、屋外ベント弁フランジ部の漏えい警報が発生した。この事象は当日の東京電力の調査により、ALPS処理水が漏えいしたものではないと判断された。この件について7日、8日に調査の状況を確認したところであるが、今回は当該ベント弁の復旧の状況を確認した。（前回確認：[9月8日](#)）

- ・ 現地では、東京電力職員の立ち会いの下、委託作業員数名が、漏えい検知器が反応した弁の保温材を復旧していた。（写真4）



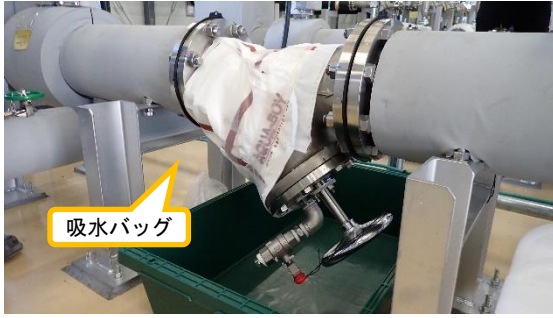
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
配管水張り作業の状況



(写真2)
Y型ストレーナ周囲の水漏れ確認の状況



(写真3)
Y型ストレーナ配管の仮復旧状況



(写真4)
ベント弁の保温材設置の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。